



おやこ大学だより

2016年度 5号 (2016. 8. 1) Vol.63

ごあいさつ



月梅雨明け宣言と同時に訪れた青い空と白い雲。いよいよ夏本番ですね。旅行や親の実家に里帰りなど、子どもにとっては普段と違うお楽しみがいっぱいです。健康管理や事故に十分留意し、楽しんでください。

子どもとの外出の注意点



夏休みの宿題も気になるころですが、勉強とお出かけを兼ねることができる「博物館」はお勧めです。なにより現地は空調管理されているので、体調を崩す心配もなしです。電車やバスを上手に利用し、混雑を避けて早めに帰宅できるようスケジュールを組みましょう。幼児・小学生向けの博物館

- 消防博物館（四谷）：幼児におすすめ。小ちんまりとした博物館です
- 鉄道博物館・東武博物館・地下鉄博物館：こちらは電車好きの小学生向き
- 東京国立博物館・国立科学博物館：好奇心をくすぐります。



行楽地は混雑も必須です。子どもにとって人混みは、木々に囲まれた深い森の様です。迷子にならないように、しっかりと手をつなぎましょう。ベビーカーでの移動も注意が必要です。上からの日差しだけではなく、地面からの照り返しも意外に強い場合もあります。体温や表情を確認しながら水分補給をまめにしましょう。子どもは汗っかきですから着替えも必要ですね。歩きたばこをしている人とすれ違うこともあるかもしれません。ちょうど子どもの目の位置に火がきたら…と考えるだけで怖くなります。周囲にも目を配り、楽しい思い出をたくさん作ってください。

小学生向け夏休みイベントを開催いたします



8月5日、6日	夏休み大学たんけん	(小学生全学年対象)
8月18日、19日	夏休み子どもワークショップ	(小学校高学年対象)

詳細はこちらをご覧ください。



こんな言葉をかけていませんか？

子どもを注意するとき「うるさくすると、おじさんやおばさんに怒られるよ」「そんなことをしたら、おまわりさんに叱られるからやめなさい！」などといってしまうことありませんか？電車ではしゃぐお子さんに「ほら、みんなが見ているからやめなさい」と叱っている保護者の方を見かけたことがあります。きっと周囲に迷惑になると困ってらしたのだと思います。でも、迷惑行為は「人に見られるから、怒られるからしてはいけない」ではありません。よくないことだからダメなのです。こういった叱り方は、「人が見ていなかったらいい」という教えになってしまうかも…。そうならないように、年齢に応じて理解できるように言葉を選び、声をかけていきたいですね。また、周囲も乳幼児や保護者の方の気持ちに寄り添いたいものです。子どもが大人と同じように行動できるわけではありません。保護者と周囲の大人の振る舞いが、子どもの社会性を育てていくのだと感じます。



アオスジアゲハをよく見かけます



一時期すっかり見なくなったと寂しく思っていたら、ここ何年かの間に見かけることが多くなりました。幼虫はくすのきを食べるので、結構都市部でも確認できるのだそうです。美しい羽根に出会えるといいですね。



☆☆獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターからのお知らせ☆☆

小学生向け、夏休みのイベント

- 8月5日(金) 「大学たんけん」獨協大学構内を親子で探検します (対象：小1~小6)
- 8月18日(木)~19日(金) 子どもワークショップ (対象：小5、小6)



専門相談のお知らせ

2016年 8月 30日 (火)	14時半~16時半	作田 亮一先生 (獨協大越谷病院子どものこころ診療センター)
2016年 8月 23日 (火)	10時~13時	植竹 薫先生 (文教大学臨床相談研究所、臨床心理士)
2016年 9月 13日 (火)	10時~13時	石橋 昭良先生 (文教大学、臨床心理士)
2016年 9月 23日 (金)	13時~16時	長谷川 毅先生 (草加市立病院小児科部長)
2016年 10月 18日 (火)	10時~13時	名尾 典子先生 (文教大学、臨床心理士)

※すでに定員一杯でキャンセル待ちとなる場合があります。お問い合わせください。

お問い合わせ・投稿はこちらまで
獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター
〒340-0041 埼玉県草加市松原1-1-10 TEL.048-946-1781 FAX.048-946-1782
E-Mail: kodomolc@dokkyo.ac.jp

子どもに関する相談(無料 月~金 9時~17時) 048-946-1771